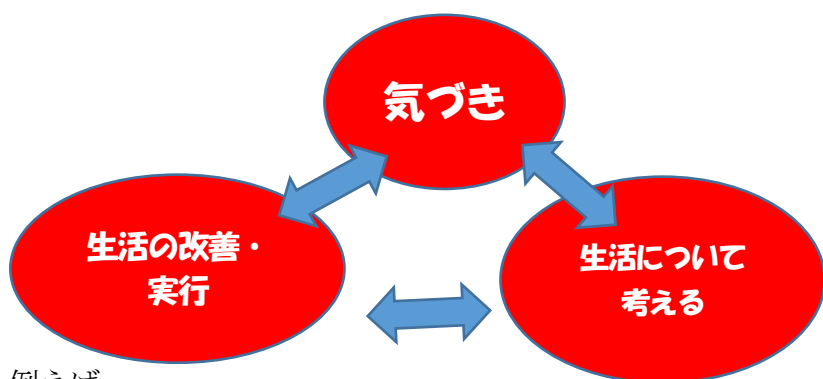


6月7日（月）から行われた2週間の校内実習が終了しました。『やっと終わった。』『立ちパなしで疲れた。』『箱を折ることは難しい』等のだけの感想であれば残念です。

校内実習や現場実習で大切なことは「気づき」です。学校生活とは違う環境で生活し、“できたこと”や“できなかったこと”“働くときに必要な力は何か”等を感じ・気づくことが大切です。気づき・発見することは次への目標になります。



事前に用意した目標など、
どで反省するだけでは、
成長は小さいです。実習
を行い、気づき・発見を
大切にします。自分自
身を見つめ、改善・実行
してください。

例えば、

- 『人前で人に伝わるあいさつができた』『元気に挨拶ができた。』
気づいた人は、日頃から取り組んでいる成果です。これからも実行してください。
- 『仕事が楽しいと思えた』
気づいた人は、将来働いて自立したいと考えている人。仕事のイメージがついている人。将来のため、様々な職種に挑戦し、もっと視野を広げてください。
- 『6時間働いて脚が痛くてつらかった。』『重い商品を上げ下ろしするときにふらついた』
気づいた人は 今後、体力をどのようにつけるか考え実行する必要があります。
- 『あいさつができなかった』『返事はできなかった』『説明された内容を理解していないのに返事をしている』
気づいた人は、日頃から出来ていない人でしょう。日常生活の中で意識して取り組む必要があります。
- 『メモを取ることができなかった』『いつメモを書いていいかわからなかった』
気づいた人は、日頃から書いていない人。いつ書いていいかわからない場合は上司にメモを取っていいか確認すればよいのでは。わからない時に聞く行為は、決して恥ずかしい行為ではありません。聞く行為は、勇ましいです。【何度も同じことを聞くのはダメです】
- 『メモの活用ができなかった』
気づいた人は、メモを書くだけの人。覚えることは記憶。記憶したことを行動する。メモは記録。記録して物事を振り返り活用する。メモに自信がない人は、清書のノートを作り活用する。
- 『午後は眠くなってしまった』『集中できなかった』
気づいた人は、学校生活で一度も眠くなったり、集中できなかったりすることはありますか？少しでもあった人は家庭生活を見直す必要があります。
- 『わからない時、周りの方に聞く（質問）ができなかった。』『指示を中途半端に理解してしまった』『指示を聞いて取り組んでいたが、途中で指示がわからなくなり、自分のやりやすい方法で取り組み注意された』
気づいた人は、重症です。仕事には会社独自のマニュアルがあります。経験から作られたマニュアルで会社のやり方で正確に仕事をするのが大切です。よかれと思っても自分のやり方で行う事は絶対にダメです。